

②記入者	課名	企画情報課	係名	企画調整係	氏名	日向 唯	TEL (内線)	42-3571 (337)	
款	項	目	大	③大事業名 小事業 (個別事業) 名称					
2	1	6	2	企画費 0 2男女共同参画推進費 0 1男女共同参画社会計画推進事業					
④総合計画No.		133	総合計画施策体系	6-1-2	主要施策名	男女共同参画に関する意識づくりの推進			
⑤開始年度		平成17年度		⑥終了予定年度		0		⑦事業目的の達成度	D (目標を下回る達成)

⑧事業費 ※小事業ベース	単位	決算額		予算見込額		⑨今後の事業規模	⑩今後の予算規模
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
決算額 (H30~R元)	千円	35	124	233	233	A 現状維持	B 同程度
予算見込額(R2~R3)	千円	35	124	233	233		
上記のうち一般財源	千円						
職員人件費	千円						

- ⑦事業の達成度合い
 A (目標値200%以上の大幅な達成)
 B (目標を上回る達成)
 C (目標と同水準の達成)
 D (目標を下回る達成)
 E (目標値50%以下を下回る達成)

「フォローアップ」

① 達成度が低い事業について担当課回答		
事業の目標項目	達成度が低い理由、解決すべき課題	担当課で考える課題解決の手法
固定的な性別役割分担意識を解消し、男女共同参画社会の形成を図る。 ・各種審議会委員への女性の登用率 ・町管理職に占める女性の割合 ・女性人材育成事業講座等参加者数 ・男女共同参画啓発事業講座等参加者数 ・広報紙による男女共同参画に関する啓発回数 ・「山形いきいき子育て応援企業」の企業数	各人の意識の問題であり、数十年単位の時間がかかるものであり、地道に行っていく必要がある。無関心層にアプローチするためには、町のみではなく、近隣市町村や県と連携して行うべきである。	当課単独事業として事業費を上げることも困難であるので、男女共同参画社会計画に関連する事業を担当課または関連団体が行う際に、情報提供など周知啓発する時間をいただく等、PRの機会をとらえながら連携した取り組みを行う。また、どのような事業が効果的なのか、その必要性も含め慎重に検討の上、県の補助金等を活用して行う。
② 庁内意見		
・ここまで男女共同参画が思うように進まない中、町独自の事業には限界があるのでは。町単独の課題ではないため、予算も含め再検討すべき。交通安全のように県内全体の県民運動（キャラバン隊などによるアピール）のような事業に変化（県などへの要望）した方が良いのではないかと。 ・男女共同参画の意識は、かなり浸透してきているので、これまでの取り組みの成果と思われる。 ・無関心層に対するアプローチは、関係機関と連携しながら時間をかけて行っていくしかないと思う。 ・事業の目標項目として達成しにくいのか？ 高すぎる目標値になっているのかも。 ・率先する意味で町管理職・係長職の登用を積極的にしてみてもどうか。しかし家庭状況（子ども・介護・炊事）のため仕事は負担となってしまうか。 ・継続した啓発活動は必要と思うが、短期的な目標設定をして、その結果だけを見て評価する必要があるのか疑問に思う。啓発活動（事業）の中身を検証して、PDCAを回していくことが重要と思う。目標設定するならば、10年単位の長期的なものにしたほうがいいのではないのでしょうか。 ・現代では女性の社会進出が当たり前であり、正直「男女共同」という言葉すら使用されるべきなのか否か、国・県の事業に対しても疑問に思う。県の補助金があるからやる、ということになっていないか。 ・どうすれば女性が意欲をもって目標項目に定める事項に取り組んでもらえるかという視点から取り組むとはどうか。		
③ 担当課のR3予算要求における事業変更点、見直し内容		効果額算定 ○か×
新規事業等を行う予定はないため、主な予算は委員への報酬・費用弁償であり基本的には変更なし。アドバイザーについて、必要な場合に最適な方へ委嘱する等に対応するため、通年の委嘱はなしとする。		○

②記入者	課名	企画情報課	係名	まちづくり係	氏名	小林 えり奈	TEL (内線)	340
款	項	目	大事業	③大事業名 小事業 (個別事業) 名称				
2	1	8	2	地域振興費 02花のまちづくり事業費				
④総合計画No.		79	総合計画施策体系	3-5-3	主要施策名	緑化の推進		
⑤開始年度		平成17年度		⑥終了予定年度	0		⑦事業目的の達成度	D (目標を下回る達成)

⑧事業費 ※小事業ベース	単位	決算額		予算見込額		⑨今後の事業規模	⑩今後の予算規模
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
決算額 (H30~R元)	千円	5,607	5,341	4,526	4,526	A 現状維持	B 同程度
予算見込額 (R2~R3)	千円	577	1,680	410	410		
上記のうち一般財源	千円						
職員人件費	千円						

⑦事業の達成度合い
 A (目標値200%以上の大幅な達成)
 B (目標を上回る達成)
 C (目標と同水準の達成)
 D (目標を下回る達成)
 E (目標値50%以下を下回る達成)

《フォローアップ》

① 達成度が低い事業について担当課回答		
事業の目標項目	達成度が低い理由、解決すべき課題	担当課で考える課題解決の手法
参加団体数	構成員の高齢化により、活動ができなくなる団体が増えている。町内の景観の美化のためにも、担い手の確保が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> 新規団体の掘り起こし 団体の負担を軽減するため、配布方法の見直しを検討する。 拠点団体が活動を継続できるよう重点的に支援する。
② 庁内意見		
<p>・新規団体があれば良いが、無い場合は多少距離があっても花の世話が好きな方へお願いするなど考え方を変更してはどうか。義務になると継続しないのでは。</p> <p>・参加団体数の減少は、少子高齢化によりやむを得ない事情と思われる。</p> <p>・拠点団体が活動しやすい支援を期待する。</p> <p>・高齢化に影響されない事業のやり方の検討をしいては？</p> <p>・花植え作業自体が自治会等の負担になっている。思い切って休止してみてもどうか。</p> <p>・団体だと自分の思いどおりにできずに、やらされている感になりやすいので、個人に任せる方法も可とするように検討してみてもいかがでしょうか。</p> <p>・地域づくり活動交付金の補助メニューに統合（地域づくりのきっかけとして活用するため）</p> <p>・参加団体の負担軽減を図り、減少を食い止める方策が現実的だと思う。</p> <p>・拠点の絞り込みをしてはどうか。</p> <p>・毎年同じ花の種類（1年草）だけでは、団体の創意工夫や継続の意欲も湧かないのではないかと。多年草も加えれば毎年の調達コストや手間も軽減できるのではないかと。</p> <p>・風車村のラベンダーや芝桜なども活用可能と思われる。</p> <p>・費用対効果に疑問。「担い手確保」とは、若い世代のことを指すのか。高齢化により活動できないとあるが、そもそも参加できるのがその世代になってしまっているのでは。団体の負担軽減ももちろんだが、町職員の負担も軽減すべき。</p> <p>・花苗手配の関係から前年度から事業着手しているが、どの段階で事業見直しを行っているのか、わからない。安易に前年踏襲しているように見えるので、庁舎内にもつて変更内容をアピールしたほうがよい。</p>		
③ 担当課のR3予算要求における事業変更点、見直し内容		効果額算定 ○か×
<p>事業全体の実施可否や拠点箇所に特化した事業実施など検討しているが、町の施策として継続している経過がある。</p> <p>R3については、花の種類の見直しを行い、結果として花苗配布数の削減を図ることはできた。</p> <p>今後については、現在実施している団体の意向も確認し、方向性を定めたい。なお、指標に掲げる参加団体数について、総合計画後期計画では数値を下方修正している。</p>		○

②記入者	課名	企画情報課	係名	まちづくり係	氏名	小林 えり奈	TEL(内線)	340
款	項	目	大事業	③大事業名 小事業(個別事業)名称				
2	1	8	6	地域振興費 06町営バス等運行事業費				
④総合計画No.	129	総合計画施策体系	5-3-6	主要施策名	公共交通の充実			
⑤開始年度	平成17年度		⑥終了予定年度	0		⑦事業目的の達成度	D(目標を下回る達成)	

⑧事業費 ※小事業ベース	単位	決算額		予算見込額		⑨今後の事業規模	⑩今後の予算規模
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
決算額(H30~R元)	千円	52,757	43,370	45,751	45,751	E改善が必要	B同程度
予算見込額(R2~R3)	千円	14,305	14,968	11,149	11,149		
上記のうち一般財源	千円						
職員人件費	千円						

⑦事業の達成度合い
 A(目標値200%以上の大幅な達成)
 B(目標を上回る達成)
 C(目標と同水準の達成)
 D(目標を下回る達成)
 E(目標値50%以下を下回る達成)

《フォローアップ》

① 達成度が低い事業について担当課回答		
事業の目標項目	達成度が低い理由、解決すべき課題	担当課で考える課題解決の手法
町営バスの利用者数	新規利用者が少なく、全体の利用者は減少傾向にある。利便性の向上と、親しみやすさを目指して運行を見直す必要がある。	・乗り方講座を行い、バスに対する疑問や不安を解消する。 ・My時刻表を作成する。

② 庁内意見

- ・乗り方講座やMy時刻表の作成により、バスに対する親しみ度がアップすることを期待する。
- ・諸事情により利用者は減少している。実情を踏まえたサービス内容を検討する。
- ・思い切って休止してみてもどうか。タクシー利用に切り替えてもらう。
- ・目的地や時間帯等のニーズの把握が必要だと思います。
- ・Aコープ梵天が閉店したことにより、町湯、梵天、銀行などが1ヶ所で高齢者が様々な用事を済ます機会がなくなったので、買い物考えたバスの停留所の見直しが早急に必要になると考える。
- ・町民の高齢化に伴い、重要性が今後ますます高まると予測される。乗り方講座をして欲しい。広く町民へ周知を。乗りたくなるような仕掛けが必要では。例えば、ポイント制など。たぶらなどとコラボするとか、高齢者の外出は、介護予防につながるの、何か良い企画があれば。立谷沢地区の方から『町営バスが朝晩しかなく、北月山荘や通院の時に使えない。使いやすい時間帯にないので困っている。タクシー代もばかにならない。』という意見も伺っている。
- ・利用者の利便性の向上を図ることだと思う。
- ・町民からの意見も取り入れたうえで駐車場所の見直しをしてはどうか。
- ・アピアからの店舗撤退、Aコープ撤退を受け、需要の再調査が必要だと思います。町営バスが高齢者向けであるならば、循環線と幹線のハブとなる場所に待ち時間を潰せて集まれる場所があれば、町営バスに乗れば人ともつながれるツールの一つになるかと思っています。
- ・どこに何時にバスが発着しているのか、わからない方が多く、「乗り方講座」以前にバスを運行していることをもっと周知すべきと思う。
- ・時刻表の印刷・広報への折込や高齢者世帯への配布はしていないのか。HPで見られるとしても、主に利用すると思われる高齢者世帯へどう周知するのかもっと工夫が必要かも。
- ・イベントに関して、バス時刻表にも配慮する意識と、公共交通機関の利用特典があっても良いのではと思います。

③ 担当課のR3予算要求における事業変更点、見直し内容	効果額算定 ○か×
アピア・町湯のバス停は、乗継ぎ場所として重要な役割もあるため、ターミナルバス停の変更も視野に入れ、R3に運行ダイヤの大幅な見直しを予定している。 また循環路線バス4コース(月水金2コース、火木土2コース)に対し、29人乗りマイクロバス2台をリースしており、R3.9下旬に期間終了するのに合わせ、うち1台は、日赤バス(15人乗り)を活用する。4コースの乗車状況に偏りがあるため、コースの組み換えも必要なことから、周知も含め9月からの新ダイヤを予定。路線バス運行への補助は増加傾向にあり、酒田余目線の廃止に係る代替措置対応としてデマンドタクシーの試験運行を実施予定。	×

令和2年度 庄内町事務事業評価シート

①担当課No. 311

②記入者	課名	環境防災課	係名	環境係	氏名	大川 康平	TEL(内線)	43-0254(354)
款	項	目	大事業	③大事業名 小事業(個別事業) 名称				
4	1	4	7	環境衛生費 07 合併処理浄化槽整備事業				
④総合計画No.	73	総合計画施策体系	3-3-6	主要施策名	合併処理浄化槽の整備促進と適正管理の促進			
⑤開始年度	平成17年度		⑥終了予定年度	0		⑦事業目的の達成度	D(目標を下回る達成)	

⑧事業費 ※小事業ベース	単位	決算額		予算見込額		⑨今後の事業規模	⑩今後の予算規模
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
決算額(H30~R元)	千円	1,325	10	1,977	2,112	A 現状維持	B 同程度
予算見込額(R2~R3)							
上記のうち一般財源	千円	913	10	1,713	1,853		
職員人件費	千円						

⑦事業の達成度合い
 A(目標値200%以上の大幅な達成)
 B(目標を上回る達成)
 C(目標と同水準の達成)
 D(目標を下回る達成)
 E(目標値50%以下を下回る達成)

《フォローアップ》

① 達成度が低い事業について担当課回答		
事業の目標項目	達成度が低い理由、解決すべき課題	担当課で考える課題解決の手法
合併処理浄化槽整備基数(累計)	単年度ごとに増減があり、また、年度当初の設置予定者から家庭の諸事情により辞退がため。	未設置世帯等への継続的な設置の勧奨。
② 庁内意見		
・未設置世帯等には、設置の際の補助金の周知等により、地道に勧奨するしかないと思われる。 ・環境衛生の向上という公的目標はあるが、設置は各家庭の経済事情次第なので町からの積極介入は難しいのではないかと。 ・対象者が高齢者のみの世帯であるケースが多いので整備を進めるのは大変だと思いますが、若い人がいる世帯を中心に設置勧奨していくことも一つの方法かと思えます。 ・実施を妨げる「家庭の諸事情」の解消はできないのでしょうか。		
③ 担当課のR3予算要求における事業変更点、見直し内容		効果額算定 ○か×
見直し、変更なし (課題解決の手法が、未設置世帯等への継続的な設置の勧奨のため、予算による見直し等はありません。勧奨の方法等を検討します。)		×

令和2年度 庄内町事務事業評価シート

①担当課No. 520

②記入者	課名	保健福祉課	係名	健康推進係	氏名	佐藤美穂	TEL(内線)	155
款	項	目	大事業	③大事業名 小事業(個別事業)名称				
4	1	2	3	予防費 03 予防接種費				
④総合計画No.	24	総合計画施策体系	1-5-4	主要施策名	感染症予防・予防接種事業の推進			
⑤開始年度	平成17年度		⑥終了予定年度	0		⑦事業目的の達成度	D(目標を下回る達成)	

⑧事業費 ※小事業ベース	単位	決算額		予算見込額		⑨今後の事業規模	⑩今後の予算規模
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
決算額(H30~R元)	千円	40,815	36,192	41,393	45,080	A 現状維持	B 同程度
予算見込額(R2~R3)							
上記のうち一般財源	千円	40,566	35,588	40,170	44,000		
職員人件費	千円						

- ⑦事業の達成度合い
 A(目標値200%以上の大幅な達成)
 B(目標を上回る達成)
 C(目標と同水準の達成)
 D(目標を下回る達成)
 E(目標値50%以下を下回る達成)

「フォローアップ」

① 達成度が低い事業について担当課回答		
事業の目標項目	達成度が低い理由、解決すべき課題	担当課で考える課題解決の手法
風しん・麻しん1期の予防接種率	対象となる予防接種の性質上、正確な指標の把握が困難であるため、目標値と実績値に乖離が生じてしまう。そのため、より正確な接種率が把握できる指標に変更した。	適切な時期に接種を完了できるよう、訪問や健診時に予防接種の重要性を周知しながら、接種勧奨を継続していく。また、接種状況を随時確認し、複数回の接種勧奨を行う。
② 庁内意見		
<ul style="list-style-type: none"> 対象となる予防接種の必要性・重要性を複数回勧奨していくしかないと思われる。 複数回の接種勧奨は効果があるのではないか。 登録制のSNSやメール等を活用し、接種勧奨の情報発信はできないか。 		
③ 担当課のR3予算要求における事業変更点、見直し内容		効果額算定 ○か×
接種勧奨を継続して実施。予算要求は特になし。SNSの利用については今後検討していく。		○

令和2年度 庄内町事務事業評価シート

①担当課No. 712

②記入者	課名	建設課	係名	都市計画係	氏名	齋藤弘幸	TEL (内線)	237
款	項	目	大事業	③大事業名 小事業 (個別事業) 名称				
8	4	3	1	都市下水道事業費 01 都市下水道維持管理費				
④総合計画No.	64	総合計画施策体系	3-2-2	主要施策名	公害・環境汚染等の防止			
⑤開始年度	平成17年		⑥終了予定年度	-		⑦事業目的の達成度	D (目標を下回る達成)	

⑧事業費 ※小事業ベース	単位	決算額		予算見込額		⑨今後の事業規模	⑩今後の予算規模
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
決算額 (H30~R元)	千円	18,824	14,240	17,965	18,000	A 現状維持	B 同程度
予算見込額 (R2~R3)							
上記のうち一般財源	千円	18,824	14,240	17,965	18,000		
職員人件費	千円						

⑦事業の達成度合い
 A (目標値200%以上の大幅な達成)
 B (目標を上回る達成)
 C (目標と同水準の達成)
 D (目標を下回る達成)
 E (目標値50%以下を下回る達成)

《フォローアップ》

① 達成度が低い事業について担当課回答		
事業の目標項目	達成度が低い理由、解決すべき課題	担当課で考える課題解決の手法
適正な維持管理と施設の長寿命化	気象環境の影響を受け、適時事業実施が阻害されたため。	気象環境の影響を受けない事業実施時期への見直しと、既存施設長寿命化のための予算確保、機能強化及び多用途利用への対応を図る。
② 庁内意見		
・きちんとスケジュール管理すれば何も問題ないと思う。 ・近年の豪雨による排水路水害に対しては機能強化の予算はむしろ政策判断で積極的に配分すべきではないか。 ・事業実施時期の見直しと機能強化を継続されたい。		
③ 担当課のR3予算要求における事業変更点、見直し内容		効果額算定 ○か×
なし		×

令和2年度 庄内町事務事業評価シート

①担当課No. 717

②記入者	課名	建設課	係名	都市計画係	氏名	齋藤弘幸	TEL(内線)	237
款	項	目	大事業	③大事業名 小事業(個別事業)名称				
8	5	1	4	住宅管理費 04住宅建築物耐震改修等事業費				
④総合計画No.		121	総合計画施策体系	5-2-2	主要施策名	民間住宅等の整備・充実の促進		
⑤開始年度		平成17年		⑥終了予定年度		-	⑦事業目的の達成度	E(目標値50%以下を下回る達成)

⑧事業費 ※小事業ベース	単位	決算額		予算見込額		⑨今後の事業規模	⑩今後の予算規模
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
決算額(H30~R元)	千円	1	177	2,463	1,609	A現状維持	B同程度
予算見込額(R2~R3)							
上記のうち一般財源	千円	1	81	1,025	598		
職員人件費	千円						

⑦事業の達成度合い
 A(目標値200%以上の大幅な達成)
 B(目標を上回る達成)
 C(目標と同水準の達成)
 D(目標を下回る達成)
 E(目標値50%以下を下回る達成)

《フォローアップ》

① 達成度が低い事業について担当課回答		
事業の目標項目	達成度が低い理由、解決すべき課題	担当課で考える課題解決の手法
民間住宅等の整備・充実の促進	事業の利用件数が伸びず、達成度はEと低くなっていますが、昨年発生した山形県沖地震を受けて関心が高まっており、継続すべき事業と評価しました。広報や住宅関連補助事業のチラシ等の掲載に加え、更に踏み込んだ周知に努めてください。	なし
② 庁内意見		
事業の利用件数が伸びず、達成度はEと低くなっていますが、昨年発生した山形県沖地震を受けて関心が高まっており、継続すべき事業と評価しました。広報や住宅関連補助事業のチラシ等の掲載に加え、更に踏み込んだ周知に努めてください。		
③ 担当課のR3予算要求における事業変更点、見直し内容		効果額算定 ○か×
なし		×

令和2年度 庄内町事務事業評価シート

①担当課No. 720

②記入者	課名	建設課	係名	都市計画係	氏名	齋藤弘幸	TEL(内線)	237
款	項	目	大事業	③大事業名 小事業(個別事業)名称				
8	5	1	8	住宅管理費 08子育て応援住宅管理事業				
④総合計画No.		122	総合計画施策体系	5-2-3	主要施策名	定住・移住の促進に向けた取り組みの推進		
⑤開始年度		令和元年度		⑥終了予定年度	-		⑦事業目的の達成度	D(目標を下回る達成)

⑧事業費 ※小事業ベース	単位	決算額		予算見込額		⑨今後の事業規模	⑩今後の予算規模
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
決算額(H30~R元)	千円	0	1,432	13,542	13,600	A現状維持	B同程度
予算見込額(R2~R3)	千円	0	1,432	6,557	6,557		
上記のうち一般財源	千円						
職員人件費	千円						

- ⑦事業の達成度合い
 A(目標値200%以上の大幅な達成)
 B(目標を上回る達成)
 C(目標と同水準の達成)
 D(目標を下回る達成)
 E(目標値50%以下を下回る達成)

「フォローアップ」

① 達成度が低い事業について担当課回答		
事業の目標項目	達成度が低い理由、解決すべき課題	担当課で考える課題解決の手法
子育て世代の入居に特化した低廉で居住しやすい環境の確保と入居率の向上	住宅完成時期の遅れによる入居開始時期が年度末にずれ込んだこと、コロナ禍による住民移動の自粛によるため。	住宅を紹介する機会を増やし、住宅を所有する民間事業者等との連携による入居率の向上を図る。
② 庁内意見		
<p>・コロナだからこそ、都市部から地方へ移る人が増えていると思う。今年度より入居対象要件を緩和したと思うが、町内の方も対象とし、家賃収入を確保すべき。町内の子育て家庭やシングルマザーからは、なぜ町外のみ対象なのか、町の人口を外から増やすだけでなく、中にいる人を確保していくことが大事では、子育て応援の町ではないのか、と言われました。</p> <p>・担当課では入居率の向上に尽力されていると思うが、空室が長期間続くことがないようにさらに工夫をお願いしたい。</p> <p>・低廉を前面に押し出してPRすることだと思う。</p> <p>・実際に入居した方からの感想等をSNS等を利用して情報発信してはどうか。</p>		
③ 担当課のR3予算要求における事業変更点、見直し内容		効果額算定 ○か×
申込要件の変更(町内居住者も可。ただし町外居住者を優先)の予定。		×

令和2年度 庄内町事務事業評価シート

①担当課No. 807

②記入者	課名	農林課	係名	農産係	氏名	佐藤萌子	TEL(内線)	255
款	項	目	大事業	③大事業名 小事業(個別事業)名称				
6	1	4	2	作物生産安定対策費 02 園芸特産生産安定対策費				
④総合計画No.	95	総合計画施策体系	4-1-2	主要施策名	売れる農産物づくり、複合経営の促進、生産性の向上			
⑤開始年度	平成17年度		⑥終了予定年度	0		⑦事業目的の達成度	D(目標を下回る達成)	

⑧事業費 ※小事業ベース	単位	決算額		予算見込額		⑨今後の事業規模	⑩今後の予算規模
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
決算額(H30~R元)	千円	29,304	35,131	7,270	27,000	B 拡充継続	B 同程度
予算見込額(R2~R3)	千円	17,743	15,200	6,793	17,000		
上記のうち一般財源	千円						
職員人件費	千円						

⑦事業の達成度合い

- A(目標値200%以上の大幅な達成)
- B(目標を上回る達成)
- C(目標と同水準の達成)
- D(目標を下回る達成)
- E(目標値50%以下を下回る達成)

「フォローアップ」

① 達成度が低い事業について担当課回答		
事業の目標項目	達成度が低い理由、解決すべき課題	担当課で考える課題解決の手法
町内の園芸農家に対し、安定した経営及び農業所得の確保を図る。	花きについては、今年3月に「第2次庄内町花き振興計画」を策定したが、目標達成に向け厳しい状況が続いている。課題として新規就農者数や後継者の確保、連作障害への対策などがあげられる。	花き振興のため町内外への花PR事業やトルコギキョウの新品種試験栽培などを通じ、町内の花き生産量の増加を目指す。 また県の補助事業において目標未達成の団体もあるため、農協等と連携して指導を行っていく。
② 庁内意見		
<p>・農作物の中でも花き栽培は技術の差が結果に表れやすい作物であると思うので、以前実施していた、新規に取り組みたい人が先進農家で1年間研修する支援制度を復活させて、新規の花き生産者を育成していく事業を強化してはいかがでしょうか。</p> <p>・質が高い町の花き栽培振興に尽力されていると思われる。</p> <p>・花き栽培の魅力発信や関係機関との連携を継続されたい。</p> <p>・花きを身近に感じてもらうための町民向けの講座等を開催してはどうか。</p> <p>・ECサイト等を活用し、販売の増加を図ってはどうか。</p> <p>・地域おこし協力隊が花き分野に就任したこともあり、トルコギキョウについてはメディアにも取り上げられる機会が増えたように思う。</p>		
③ 担当課のR3予算要求における事業変更点、見直し内容		効果額算定 ○か×
令和2年度に地方創生臨時交付金を活用して行った「庄内町花き種苗費支援事業補助金」を令和3年度も引き続き実施することとした。なお、補助率については1/5から1/10に変更予定。		×

②記入者	課名	商工観光課	係名	商工労働係	氏名	中野 正樹	TEL(内線)	42-0138	
款	項	目	大	③大					事業
7	1	2	4	事業名 小					事業
				中心市街地商業等活性化対策費					名称
④総合計画No.		104	総合計画施策体系	4-2-5	主要施策名	中心市街地活性化計画の具現化			
⑤開始年度		平成17年度		⑥終了予定年度	0		⑦事業目的の達成度	D(目標を下回る達成)	
⑧事業費 ※小		単位	決算額		予算見込額		⑨今後の事業規模	⑩今後の予算規模	
費 ※小			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
事業費		千円	1,283	1,007	897	2,600	A 現状維持	B 同程度	
決算額(H30~R元)		千円	690	1,007	0	0			
予算見込額(R2~R3)		千円							
上記のうち一般財源		千円							
職員人件費		千円							

- ⑦事業の達成度合い
 A(目標値200%以上の大幅な達成)
 B(目標を上回る達成)
 C(目標と同水準の達成)
 D(目標を下回る達成)
 E(目標値50%以下を下回る達成)

《フォローアップ》

① 達成度が低い事業について担当課回答		
事業の目標項目	達成度が低い理由、解決すべき課題	担当課で考える課題解決の手法
「たべぶら」事業にあつては参加店舗数が55から35に、応募者数が350から38に減少した。 まちづくり助成金のうち「にぎわい創出事業」にあつては参加延べ人数の減少及び実行委員会の主体性	「たべぶら」事業にあつては事業者(商工会)が参加店舗との合意形成が不十分なままスマホアプリによる事業展開を実施。想定していた若年層の利用も進まなかった。 「にぎわい創出事業」にあつては最初の事業から3年で有志が自立して事業展開することを前提としていたが、意識が十分に高まっていない。	「たべぶら」事業にあつては事業者の独善的な企画・実施手法を見直すとともに参加店舗の主体的な参加による実情を踏まえた事業展開を促す。 「にぎわい創出事業」にあつては令和2年度からは担当課の関与を下げ、有志の手で企画・準備・実施し、行政頼みの状態から脱却する。
② 庁内意見		
<p>・「たべぶら」「にぎわい創出事業」とも大変良い事業と思われるので、今後も参加団体の主体的な参加を促し、サポートに努められたい。</p> <p>・たべぶらについては、以前あつた同じ店舗を一定回数以上利用した場合に特典がある制度などを復活させるなど、内容を再検討してみたいか。</p> <p>・ファミリー向け「たべぶら」など違う形で作成してはどうか。「子供いす有、小上がり有、ヌードルカッター、子供用食器有、シリコンスタイ貸します」など子供が一緒でも気軽に外食ができる事をアピールする。</p> <p>・費用対効果が疑問。本来商工会が主体的に行い、町へ協力依頼される事業だと思うが。すべての参加店舗がメリットを感じているのか、把握してはどうか。</p> <p>・たべぶらパスポートは特典に必要な回る店舗数が多いと感じる。特典がもっと少額でもいので、ライトな参加者向けに回る店舗数を少なくするなどしても良い気がします。また、参加店側としてもキャンペーン期間中のお得な期間限定メニューもあつたら参加者として参加してみたいと思います。</p> <p>・個人的には〇〇payなど新しいことに積極的に取り組んだり、SNS等の情報発信を頑張っているお店は応援したいと思います。</p>		
③ 担当課のR3予算要求における事業変更点、見直し内容		効果額算定 ○か×
<p>令和2年度では一店逸品研究会会員や小売・サービス業の事業とともに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して感染拡大防止とコロナ禍における商業振興を図りながら事業を実施した。</p> <p>現在のところ、新型コロナウイルス感染症の影響がまだ強いため、予算額は減額しながら令和3年度についても同様の事業を行う予定。</p>		○

令和2年度 庄内町事務事業評価シート

①担当課No. 1104

②記入者	課名	立川総合支所	係名	立川地域振興係	氏名	林 達也	TEL(内線)	56-2213 (441)
款	項	目	大事業	③大事業名 小事業(個別事業)名称				
2	1	8	7	地域振興費 07北月山荘等管理事業費				
④総合計画No.	107	総合計画施策体系	4-3-1	主要施策名	観光・交流資源の充実・活用			
⑤開始年度	平成18年度		⑥終了予定年度	0		⑦事業目的の達成度	D(目標を下回る達成)	

⑧事業費 ※小事業ベース	単位	決算額		予算見込額		⑨今後の事業規模	⑩今後の予算規模
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
決算額(H30~R元)	千円	23,460	22,422	22,567	22,567	D改善・見直しを検討	B同程度
予算見込額(R2~R3)	千円	14,705	15,615	14,646	14,646		
上記のうち一般財源	千円						
職員人件費	千円						

- ⑦事業の達成度合い
 A(目標値200%以上の大幅な達成)
 B(目標を上回る達成)
 C(目標と同水準の達成)
 D(目標を下回る達成)
 E(目標値50%以下を下回る達成)

「フォローアップ」

① 達成度が低い事業について担当課回答		
事業の目標項目	達成度が低い理由、解決すべき課題	担当課で考える課題解決の手法
北月山荘入込数(日帰り入浴等)	従来実施してきたイベントが中止となったことや、R元年度から冬期間の休業を試行しているため入込数は減少した。	R2年度はコロナの影響でさらなる落ち込みが見込まれるが、冬期間は特に収入と支出のバランスを大きく欠くため休業を継続せざるを得ない。 入込数を増加させるため家族向けイベントや体験メニューの充実を図っていく。
② 庁内意見		
<p>・高齢者の方から昼食が取れず、行かなくなったと話されている。バスの時間の都合で滞在時間も長いことから、気軽に行くことができなくなっている。高齢者が自分の力で行くことで介護予防にもつながるので、高齢者が行ける工夫をしてはどうか。</p> <p>・近隣の淡水魚養殖施設で指定管理者が月山鱒の会に変わったので、ご当地サーモンの活用を検討できないか。</p> <p>・町営に拘らず民間から入ってもらい、何らかの価値(プレミアム感)を持った別の施設等にする、あるいは維持管理経費の支出を減らす手立てを(休止・廃止)</p> <p>・施設を継続するなら、経済ではなく福祉を主目的としてはどうか。</p>		
③ 担当課のR3予算要求における事業変更点、見直し内容		効果額算定 ○か×
入込数(日帰り入浴等)増加のためのイベントや体験メニューの実施に加え、食堂経営(ランチ)や団体素泊りの再開により誘客拡大を図る。また、営業期間及び時間を短縮し経費節減に努める。		○

令和2年度 庄内町事務事業評価シート

①担当課No. 1105

②記入者	課名	立川総合支所	係名	立川地域振興係	氏名	樋渡真樹	TEL(内線)	56-2921(442)
款	項	目	大事業	③大事業名 小事業(個別事業)名称				
2	1	8	21	地域振興費 21立川地域振興事業費				
④総合計画No.		107	総合計画施策体系	4-3-1	主要施策名	観光・交流資源の充実・活用		
⑤開始年度		平成28年度		⑥終了予定年度	0		⑦事業目的の達成度	D(目標を下回る達成)

⑧事業費 ※小事業ベース	単位	決算額		予算見込額		⑨今後の事業規模	⑩今後の予算規模
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
決算額(H30~R元)	千円	4,375	1,024	757	750	C縮小継続	C減額
予算見込額(R2~R3)							
上記のうち一般財源	千円	4,375	1,024	757	750		
職員人件費	千円						

⑦事業の達成度合い

- A(目標値200%以上の大幅な達成)
- B(目標を上回る達成)
- C(目標と同水準の達成)
- D(目標を下回る達成)
- E(目標値50%以下を下回る達成)

「フォローアップ」

① 達成度が低い事業について担当課回答		
事業の目標項目	達成度が低い理由、解決すべき課題	担当課で考える課題解決の手法
月山龍神マラソン来場者数	R元年度は台風の影響により中止となったため、事業が実施されなかった。	R2年度もコロナの影響で中止が決定しているが、今後も地域の方々と協働して、交流人口の拡大と経済効果の創出を図っていく。
② 庁内意見		
<p>・例年多くの参加者があるため事業としては継続でよいと思うが、せっかく人が集まるのに地元への還元がない印象。参加費プラス宿泊料のバックを作り、宿泊施設と一体となって地元にお金を落としてもらう仕組みを作っては。</p>		
③ 担当課のR3予算要求における事業変更点、見直し内容		効果額算定 ○か×
<p>(事業費そのものは観光協会費から支出している) 清川関所を拠点とした観光ツアーが多くなってきており、Withコロナの観光の在り方やお金が落ちる仕組みを地元の管理運営委員会等と検討していく。</p>		○

令和2年度 庄内町事務事業評価シート

①担当課No. 1611

②記入者	課名	教育課	係名	教育施設係	氏名	押切崇寛	TEL(内線)	212
款	項	目	大事業	③大事業名 小事業(個別事業)名称				
10	2	1	3	学校管理費 03 小学校施設維持整備費				
④総合計画No.	38	総合計画施策体系	2-1-9	主要施策名	学校教育を支える施設・教育環境の充実			
⑤開始年度	平成17年度		⑥終了予定年度	0		⑦事業目的の達成度	D(目標を下回る達成)	

⑧事業費 ※小事業ベース	単位	決算額		予算見込額		⑨今後の事業規模	⑩今後の予算規模
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
決算額(H30~R元)	千円	18,217	109,095	71,718	15,600	C縮小継続	C減額
予算見込額(R2~R3)	千円	11,417	10,364	22,769	14,900		
上記のうち一般財源	千円						
職員人件費	千円						

- ⑦事業の達成度合い
 A(目標値200%以上の大幅な達成)
 B(目標を上回る達成)
 C(目標と同水準の達成)
 D(目標を下回る達成)
 E(目標値50%以下を下回る達成)

「フォローアップ」

① 達成度が低い事業について担当課回答		
事業の目標項目	達成度が低い理由、解決すべき課題	担当課で考える課題解決の手法
大規模改修整備率	これまで、耐震改修やトイレ改修、昨年度の空調設置など必要な大規模改修は行ってきました。築50年以上を経過している小学校が3施設あるため、将来を見据え維持管理を中心とした対応を行ったため下回る結果となった。	今年度末までに策定する「教育施設長寿命化計画」と、現在行っている「学校施設適正規模・適正配置検討委員会」を基軸に、将来にわたり持続可能な施設整備を検討する必要がある。
② 庁内意見		
・児童数の減により、近い将来小学校は統廃合が必要と思う。10/20の公共施設マネジメント研修を参考に、適正配置について検討を急ぐ必要があると思う。 ・今後の学校運営の方向性の検討と合わせて実施していく事業と思われる。		
③ 担当課のR3予算要求における事業変更点、見直し内容		効果額算定 ○か×
老朽度調査によりコンクリートの圧縮強度不足と判定を受けた施設については、子ども達の安全安心の観点から対策が必要である。 一方で、今年度に行われた「学校施設適正規模・適正配置検討委員会」で出された意見を踏まえ、来年度以降の審議会の設置など、将来にわたり持続可能な施設整備について、検討が急務である。		×

令和2年度 庄内町事務事業評価シート

①担当課No. 1714

②記入者	課名	社会教育課	係名	図書館	氏名	佐藤 晃子	TEL (内線)	43-3039	
款	項	目	大事業	③大事業名 小事業 (個別事業) 名称					
10	5	3	2	図書館費 02 図書館運営費					
④総合計画No.		41	総合計画施策体系	2-2-3	主要施策名	図書館活用の充実			
⑤開始年度		平成17年度		⑥終了予定年度		0		⑦事業目的の達成度	D (目標を下回る達成)

⑧事業費 ※小事業ベース	単位	決算額		予算見込額		⑨今後の事業規模	⑩今後の予算規模
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
決算額 (H30~R元)	千円	21,645	20,515	22,548	22,548	B 拡充継続	A 増額
予算見込額 (R2~R3)	千円	21,624	20,493	22,539	22,539		
上記のうち一般財源	千円						
職員人件費	千円						

⑦事業の達成度合い

- A (目標値200%以上の大幅な達成)
- B (目標を上回る達成)
- C (目標と同水準の達成)
- D (目標を下回る達成)
- E (目標値50%以下を下回る達成)

《フォローアップ》

① 達成度が低い事業について担当課回答		
事業の目標項目	達成度が低い理由、解決すべき課題	担当課で考える課題解決の手法
図書館の運営及び施設の適正な維持管理を行い、地域の情報拠点としての機能を果たす。 ・図書館来館者数 ・図書貸出冊数	・高頻度ユーザーの高齢化、新規ユーザー獲得の困難さ、少子化等による児童・生徒の利用の減少。 ・施設・整備の老朽化、狭隘化、不便さ等、近年求められる滞在型図書館機能の不備。	「庄内町立図書館整備基本計画」内に掲げた基本コンセプトの実現につながる運営を意識しつつ、実施設計業務や建設工事を計画に沿って履行し、令和4年度内の新図書館オープンを目指す。
② 庁内意見		
・新図書館には課題を解決できるような設計や多くの人が訪れるような事業展開を期待する。 ・この指標を上げるには、流行りの本や漫画本を増やせばいいと思うが、町の図書館としてそれでいいのかということになってしまうので、地域の情報拠点としての機能を果たすということであれば、別の目標指標が必要なのではないのでしょうか。 ・新図書館になって現施設の老朽化・不便さが解消され、+αの図書館機能が発揮されれば数は増えると思う。 ・10/20公共施設マネジメント研修を聞き、図書館新設に疑問を抱いた。どうしても建設するのなら、いかに効率的に運営し、利用者呼び込めるかがカギ。 ・中学生は下校途中に図書館を利用しないように中学校が決めている。せつかくの立地が活かない。小・中・高生の利用が進まない限り、今後の利用者増が見込めないと思うので、中学校にルールの見直しを要請する。中学生の利用増が見込めないなら、この場所に建設する理由も薄くなるかと。小・中・高生の利用が増える場所はどこなのでしょう。 ・子育て支援センターと連携し、支援センターでも本の貸出、せめて返却は可能なようにする。⇒支援センターに行った後、図書館まで行くのはなかなか足が重い。 ・町民ラウンジにおすすめ図書の配置やインフォメーションを掲示する。		
③ 担当課のR3予算要求における事業変更点、見直し内容		効果額算定 ○か×
R3予算要求は今年度の実施設設計を踏まえての工事費・備品整備費用の要求となる。新図書館オープン後の来館者数・貸出冊数の拡大に向け、現在抱えている施設面での課題解決を図るとともに、滞在型図書館機能の整備に向け、計画に沿って進めている。 但し、当初予定されていなかった、周辺敷地の整備等については、現在調整中。		×

令和2年度 庄内町事務事業評価シート

①担当課No. 1719

②記入者	課名	社会教育課	係名	社会教育係	氏名	阿部 浩	TEL(内線)	221
款	項	目	大事業	③大事業名 小事業(個別事業) 名称				
10	5	4	2	青少年育成費 02 青少年育成施設運営費				
④総合計画No.	45	総合計画施策体系	2-3-3	主要施策名	青少年の体験活動の充実			
⑤開始年度	平成17年度		⑥終了予定年度	0		⑦事業目的の達成度	D(目標を下回る達成)	

⑧事業費 ※小事業ベース	単位	決算額		予算見込額		⑨今後の事業規模	⑩今後の予算規模
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
決算額(H30~R元)	千円	2,830	6,163	3,270	3,300	A現状維持	B同程度
予算見込額(R2~R3)	千円	2,798	6,104	3,220	3,250		
上記のうち一般財源	千円						
職員人件費	千円						

- ⑦事業の達成度合い
 A(目標値200%以上の大幅な達成)
 B(目標を上回る達成)
 C(目標と同水準の達成)
 D(目標を下回る達成)
 E(目標値50%以下を下回る達成)

《フォローアップ》

① 達成度が低い事業について担当課回答		
事業の目標項目	達成度が低い理由、解決すべき課題	担当課で考える課題解決の手法
大中島自然ふれあい館「森森」の運営及び、施設・設備等の維持管理。野外活動の提供。 ・大中島自然ふれあい館の利用者数	・旅館業法の規制による町外宿泊者の減少。 ・月山龍神冬まつりがなかったことによる利用者数への影響。	教育委員会所管だけでなく、立川地域振興のため、立谷沢流域の魅力、観光施設等にも利用できる施設としての利活用。
② 庁内意見		
・魅力的な施設であると思うが、今後の方向性について検討する時期かと思われる。 ・青少年育成施設に限定せずに、観光者にも利用できるような検討はいいと思う。 ・現在、北月山荘が宿泊不可となっているが、宿泊可能となった後に、立谷沢地域への観光客用の宿泊拠点として、北月山荘と連携して、広く情報発信できないか。 ・県内外の小中学生等の体験型施設として利活用できるように、専門の指導員等の養成はできないか。 ・利用するにあたって、HPでも何がどのように体験できるか、また申し込みから利用までの流れがイメージしにくいところがある気がします。まずは、体験の様子の動画や子供会等で利用するときの1日のプラン、申し込みから使用までの流れ(打ち合わせ等がどのくらい必要か等)などの情報をHPにあげるところから必要だと思います。 ・団体以外でも気軽に立ち寄れる施設であればなお良いです。 ・建物は廃し、屋外利用だけでよいのではないか。南部山村広場は多数の利用者がいるよう。		
③ 担当課のR3予算要求における事業変更点、見直し内容		効果額算定 ○か×
特になし 一部、保守管理上の削減を行った程度。 近い将来に向けては施設の必要性も含めて検討すべき課題として教育委員会ではR3予算要求時に整理しており、今後検討する。		×

令和2年度 庄内町事務事業評価シート

①担当課No. 1726

②記入者	課名	社会教育課	係名	文化スポーツ推進係	氏名	小林里佳	TEL(内線)	224
款	項	目	大事業	③大事業名 小事業(個別事業) 名称				
10	6	4	2	内藤秀因水彩画記念館運営費 02水彩画公募展開催事業				
④総合計画No.		51	総合計画施策体系	2-5-1	主要施策名	町民の手による文化芸術活動の促進		
⑤開始年度		平成17年度		⑥終了予定年度	令和2年度		⑦事業目的の達成度	D(目標を下回る達成)
⑧事業費 ※小事業ベース		単位	決算額		予算見込額		⑨今後の事業規模	⑩今後の予算規模
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	G廃止検討	C減額
決算額(H30~R元)		千円	2,014	1,816	1,859	0		
予算見込額(R2~R3)		千円	2,014	1,816	1,859	0		
上記のうち一般財源		千円	2,014	1,816	1,859	0		
職員人件費		千円						

⑦事業の達成度合い

- A(目標値200%以上の大幅な達成)
- B(目標を上回る達成)
- C(目標と同水準の達成)
- D(目標を下回る達成)
- E(目標値50%以下を下回る達成)

《フォローアップ》

① 達成度が低い事業について担当課回答		
事業の目標項目	達成度が低い理由、解決すべき課題	担当課で考える課題解決の手法
内藤秀因画伯の功績を顕彰するとともに文化芸術活動の活性化を図る ・内藤秀因記念水彩画公募展 出展者数	・一般出展者の固定化と教員の働き方改革による小中学生の出展数の減少 ・一般の部では、大賞該当なしとなった。	水彩画記念館改修工事に伴いR2年度で中止し、完成後は新たな事業を開始する予定
② 庁内意見		
<p>・新しい施設で新たな事業展開に期待する。</p> <p>・新たな事業の候補として、地域の美術館(学芸員)の役割のひとつである「教育普及活動」に焦点を当ててはどうかと考える。今年度の審査会講評でも意見があったとおり「地域の美術教育との運動」が、今後のカギとなる。町長の「水彩画が描ける子どもたちを増やす」というコンセプトともマッチングし、この地域におけるロールモデルとなる可能性がある。具体的には美術指導者を巻き込んだWSの開催等が考えられる。</p> <p>・毎年の開催でなく、節目の年(生誕何周年等)や5年おき等でもいいのでは。</p> <p>・新たな事業開始まで、どうやったら応募数が増え盛大な公募展にできるのか、考えて準備したほうが良いと思います。せつかくの休止期間、有効活用を期待します。</p>		
③ 担当課のR3予算要求における事業変更点、見直し内容		効果額算定 ○か×
公募展要求なし		○